

## タウンミーティング（南部公民館）

平成24年2月25日（土）

19:30～21:15

参加者約60名

市長	あいさつ
経営戦略室長	総合計画について説明
理事、財務部長	行財政改革プラン（素案）について説明

### 質問者T

（行財政改革プラン）17ページの投資的経費は、平成24年度は5億5,000万で、平成23年度の倍だが、平成25、26年度は9億、平成27年度以降は7億となっている。この要因は何か。

### 財務部長

平成24、25年度に大規模な学校耐震化工事を予定していることが要因。

### 質問者T

市長は、5万人都市再生をスローガン掲げているが「5万人」という数字だけを見ると現実離れた数字だと感じる。

「5万人」は、単なる数値目標ではなく指標なので、人口減少を最小限に抑えることで市の活性化が図れるはず。町内の人と話をしていると、夢のある取り組みがどんどん出てくる。市内140町の積み重ねが市全体の活性化につながる。

職場で若い職員と話をする中で、職場が加西にありながら市外に家を建てた理由としては、水道代が高い、交通の便が悪い、学校が少ない、ペットを飼えるマンションがない、住みやすさランキングが低いといったことが挙げられた。

県内の住みやすさランキングでは、上位が阪神間、中位が播磨地方、下位が但馬、淡路。三木市・加東市が16位、小野市21位、加西市23位、福崎町26位、西脇市30位で大体地域ごとに固まっており、加西市は近隣市町と大差はない。一歩抜けだして魅力のあるまちをつくるには、この豊かな農地と里山の自然を活かし、みんなが努力することが大切。総合計画を着実に実行し、住民が豊かな生活ができるように支援すれば、いい市になる。

### 市長

すでに町単位ですばらしい自治運営がされていると私は認識しているので、そこに権限も予算も下ろしていくつもりだが、もう少し広い視点で地域づくりを考える必要があるので小学校区単位でふるさと創造会議を創設したい。

先ほど、知恵を絞ればいろんな案が出てくるというお話があったが、住みやすい地域をつくっていくことが最終目標。様々な提案をいただいて実現できることはどんどんやっていく。

### 質問者U

市長は、残りの任期である3年間で人口を5万人にするとはっきり打ち出すべき。

5万人都市再生に向けた平成24年度の取り組みを実施すれば、本当に5万人都市が再生できる

のか。人口増には、出生数の増加、転入者の増加、転出者の減少、死亡人口の減少という4点が必要で、それぞれに対策がついてくるわけだが、総合計画の内容では、これをやればこの結果に結びつくということが理解できない。

流入を何人にする、出生を何人にする等、それぞれの目標値の設定し、その後の検証も必要。

市長

人口を増やすための要素について、こういう対策をしてこれぐらいの人数を増やしていくという目標化は出来る限り実施していく。この総合計画は私が当選する前年から、多くの市民の皆さんが議論され、いろんな提案もあった。そのことについて私は何ら否定しない。

前市長は、人口が減っている現状をしっかり受け止め、人口が減っても住みやすいまちを目指して総合計画を作ろうとされた。一方、私は人口を増やすことで住みよいまちをつくろうと考えているので加西市としては私が掲げた目標でやっていく。

質問者U

5万人都市再生ができなくても仕方ないというような意見が出たが、これは少し違うと思う。5万人都市を再生すると信念を持って言ってほしい。

市長

5万人都市再生は常に言っている。結果については、市長は4年ごとに市民の審判を得る立場にいる。目標に対してできる、できないは当然出てくるが、それは市民の皆さんがそのときそのときにやったことに対する評価をすることになると思う。

5万人都市の再生について具体性に欠ける部分、不十分なところは、具体的にご提案いただき、有効な提案に対しては対応する。

質問者V

(行財政改革プラン24ページ)「行政サービスの向上と効率的な行政運営」の中で、職員の資質向上が謳われているが、指針があればいいと思う。

市長30%、副市長20%、教育長15%給与カットとあるが、一般職は「今後検討」とあるのは理解しがたい。退職金は大手企業でも2,100万円なのに対して加西市は2,800万円。赤字財政に対して大変力を入れている疑問に感じる数字。

総合計画13ページの施策5「誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり」に関して。現在、第5期介護保険事業計画の策定中と聞いている。特養施設は、地域密着型と広域型があるが、地域密着型は加西市内の人しかできず、良質な介護と安価な施設料を伴えば、地域密着型は無理があるかと思う。広域型特養施設も一案として考えていただきたい。

総務部長

職員の資質向上に関しては、今まで1つの事業に10時間費やしていたものを8時間にするなど、内部でベンチマーキングをするなどして、一人ひとりの仕事力をアップすることで資質向上を図っていく。

一般職の給与カットが「今後検討」となっている点については、この資料作成時点では、まだ組合交渉が妥結していなかったためこういった表現にしているが、新聞発表にもあったように、一般の職員についても、給料月額5%相当分カットという趣旨で賞与15%カットの交渉が妥結した。以

上のことからこの資料ではあいまいな表現になっている。

退職金に関しては、国家公務員に準拠し、兵庫県市町村退職手当組合に加入し、そこで定められた率で支給されており、加西市独自の退職手当はない。

市長

第5期介護保険事業計画等について。広域型か地域密着型かは、策定委員会でも集中的に議論がされ、最終的には地域密着型施設を整備すべきとの結論をいただいているが、施設整備をすればいいというわけではなく、地域での介護力を高めることも必要。施設整備は当然必要だが、ショートステイも含め地域で24時間の訪問看護サービス等を受けながら生活していくことが理想。地域での生活がどうしても難しくなった場合には、施設入所も考える。市としては加西市の皆さんが優先的に入れる地域密着型施設が整備され、地域で介護が受けられる環境を整えるという方向で既に議会に事業計画を提出している。

質問者V

国の方向性としては在宅介護中心だが、仕事をしながらではきめ細かな在宅介護ができないのは皆さんご存じのとおり。そういう中で、5万人都市を目指すなら、加西市の人しか入れない施設ではなく、もう少し規模の大きな施設が望ましいとの思いがある。待機している方がたくさんいる点も耳に入れておいてほしい。

質問者W

加西市の農地は兵庫県下でも一、二の農地があり、県の補助金もかなり加西市に下りていると聞く。今後の加西市の農業のあり方について、市の考え方をお伺いしたい。

小野市は地元の食材をうまく活かして様々な施設に提供する加工施設や販売所が新聞にも取り上げられている一方で、加西市は、それに匹敵するような施設等がない状況。今後意欲ある営農組合をどのように育てていくかという点をお伺いしたい。

市長

加西市の農業が置かれている現状については同感。加西市の営農組合数は県下でも非常に多いと聞いており、法人化を促進するための施策については積極的にやっていきたい。

営農組合のあるべき姿については、現状では協働で行うという方向性しか選択肢がないと考えている。加工部分についても、営農組合が担っていくのが加西市の農業の望ましい姿ではないかと思っており、そういった条件は加西市には整っていると思う。営農組合自体が経営体として成り立つ可能性は十分あるので、必要な施策については、色々のご意見をいただきたい。

質問者W

今後T P Pの問題などがあり、ただ農産物を作って売るだけでは収入は下がるので、加工して販売するという6次産業を拡大していく時期にきている。こういった指導、援助をしてもらえるのかお聞きしたい。

市長

今、営農組合で考えられておられる案、状況を聞かしていただき、営農組合にも施策として展開できるようなことであれば、ぜひやっていきたい。

#### 質問者X

平成元年には加西市は5万2,914人、小野市は4万6,083人だが、平成22年には加西市は4万8,400人、小野市は5万542人となり、小野市が逆転しており、ここ10年で加西市は4,300人減っている。

小野市の幹部によると、加西との違いは、子どもに対する施策であるとのこと。小野市では、小学校6年生までの医療費の無料化が平成19年に開始され、その後中学3年生まで拡大されたが加西市は遅れている。さらに小野市の小・中学校の各教室は冷暖房完備で、学校統廃合の予定もない。これらが人口が逆転した要因。

先ほどの方と意見を異にするが、私は5万人都市再生を絶対実現しないといけないとは思わない。人口減、少子化高齢化の基本的なものは国政の問題であり、加西市がどんなに頑張っても大きな変化は期待できない。日本中で人口が減少している中、加西市の人口を5万人にするというのはなかなか難しいが、今求められているのは住みよいまちをつくっていくということ。確かに立地条件など加西市と小野市とでは違うが、学ぶべき点が多いので交流を続けてほしい。

#### 質問者Y

加西市に対して皆さん誤解をされている。水道代が高いと言われているが、水道代は決して高くない。加西市の人口は減っていると言われているが、どんどん増えている。パナソニック（三洋電機）も、ここ数年で規模が大きくなり、人がますます増えていく見込み。北条ではマンションやアパートがどんどん建っているが定着していないのが事実。

各町でどんどん色んなことをやっていかないことには、市に要望しても無理なことが多い。各町で細かいことからやっていくことが必要。

私は土地利用計画の委員会に加西中学校区の代表として参加したが、会議では加西市の活性化策について非常に活発な意見が交わされた。

加西に戻って家を建てたいと思っても様々な手続きが必要で、家を建てるには時間がかかる。24年は農振法の見直しの年。何もかも規制緩和せよというわけではないが、とにかく家を建てやすい環境を整えて考えていただきたい。それが5万人都市再生につながっていくと思う。

加西市の職員に関して。30年ぐらい市役所に入入りしているが、ここ数年で大変資質が向上し、職員一人ひとりが本当に一生懸命やられていると私は実感している。

#### 質問者Z

退職金に関しては、兵庫県市町村退職手当組合に加入しているので市単独では対応出来ないとのことだが、財政が逼迫しているのはどこの自治体も同じ。一般企業と公務員との感覚はかけ離れているので一般市民の感覚に戻すべき。

市長は市民を思って頑張っているので、陰ながら応援している。何とか住みよい加西市にしていただければと思う。

#### 副市長

閉会のあいさつ